

実質化された人・農地プラン

〔注:本様式は参考ですので、地域の話合いの結果に応じて、積極的に記載する項目を追加してください。〕

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
有田川町	田殿地区 (大賀畑、田口、大谷、井口、賢、 田角、船坂、長谷、出、尾中、角、 長田、上中島)	2022/3/30	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	494ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	348ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	135ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	49ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	12ha
(備考)2号遊休農地無し	

2 対象地区の課題

「賢みかん」など地域としてのブランドも存在する産地ではあるが、それでも担い手不足は深刻で、5年後には70歳以上で後継者未定農地が地区の耕地面積348haのうち約22.3%相当の77haに増加することが見込まれている。傾斜地が特に多いエリアで、急斜面での作業はどうしても効率が悪く、農地集約の弊害になっている。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

農地集約については、地域での話し合いをより深め、エリアごとに優先順位をつけるなどして地域としての方針を共有することを継続して行うこと。離農を検討する者はなるべく早い段階からその旨を伝え、対策を講じる時間を作ることを意識する。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

農地の貸付け等の意向
貸付け等の意向が確認された農地は、21,869㎡となっている。

既存の担い手がカバーし得る農地には限りがあるため、あらたな就農者の確保が急務となる。各地域の新規就農者に対し、技術指導やアドバイスを行うなど、積極的に担い手の育成を行っていく。